

「日本緩和医療学会 第1回東海・北陸支部学術大会プログラム」

開会式

平成30年11月3日(土)

■第1会場(白鳥ホール)

(9:00~9:10)

開会の挨拶

会長: 東口 高志(藤田医科大学医学部 外科・緩和医療学講座 教授)

教育講演

平成30年11月3日(土)

■第1会場(白鳥ホール)

(14:00~15:00)

司会: 東口 高志(藤田医科大学医学部 外科・緩和医療学講座 教授)

疑いの目を持ちつつ、患者に寄り添う気持ち: 偽依存とケミカル・コーピング

山口 重樹(獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座 主任教授)

シンポジウム I

平成30年11月3日(土)

■第1会場(白鳥ホール)

(9:10~10:25)

座長: 井上 聡(聖隷三方原病院)

村上 望(厚生連高岡病院)

シンポジウム I. “これで良いのか地域の看取り” QOD 向上のために”

シンポジスト: 中曾根 美香(厚生連高岡病院)

大澤 匡弘(名古屋市立大学)

坂本 雅樹(名古屋徳洲会総合病院)

家田 秀明(みずほ在宅支援クリニック)

共催: 第一三共株式会社

シンポジウムⅡ

平成30年11月3日（土）

■第1会場（白鳥ホール）（10:25～11:40）

座長：片山 寛次（福井大学医学部附属病院）

大原 寛之（藤田医科大学医学部外科・緩和医療学講座）

シンポジウムⅡ. “社会栄養学と緩和ケア” みんなで食を考える”

シンポジスト： 吉田 貞夫（ちゅうざん病院）

田崎 亮子（国家公務員共済組合連合会新別府病院）

牧 香代子（医療法人秀麗会山尾病院）

二村 昭彦（藤田医科大学七栗記念病院）

共催：ネス日本株式会社ネスヘルスイェンスカンパニー

パネルディスカッション

平成30年11月3日（土）

■第1会場（白鳥ホール）（15:10～16:40）

座長：渡邊 紘章（小牧市民病院）

松原 貴子（国立大学法人 三重大学医学部附属病院）

パネルディスカッション. “地域で生ききるために” 楽しもう！地域力”

パネリスト： 元雄 良治（石川県：金沢医科大学）

小林 孝一郎（富山県：富山赤十字病院）

片山 寛次（福井県：福井大学医学部附属病院）

澤井 美穂（岐阜県：東海中央病院）

安達 勇（静岡県：静岡県立静岡がんセンター）

丹村 敏則（愛知県：知多厚生病院）

清水 美恵（三重県：済生会松阪総合病院）

（共催：株式会社ツムラ）

ランチョンセミナー

平成30年11月3日(土)

■第1会場 (白鳥ホール)

(12:00~13:00)

司会: 下山 理史 (愛知県がんセンター中央病院)

難治性がん疼痛治療とオピオイド選択の考え方 ~メカニズムから地域連携まで~

富安 志郎 (地方独立行政法人佐世保市総合医療センター)

共催: 塩野義製薬株式会社/帝國製薬株式会社

一般演題 (口演)

口演 I

平成30年11月3日(土)

■第2会場 (会議室133, 134)

(9:10~10:20)

座長: 桂 長門 (藤田医科大学医学部外科・緩和医療学講座)

向井 未年子 (愛知県がんセンター中央病院)

1-1) レスキュー薬の適正使用をめざしてチームで介入した一症例

医療法人名南会名南病院

○田中 健志 (たなか たけし), 岡根 誠, 大森 久紀, 石川 雪絵, 池田 有花,
前田 美樹, 瀬形 美恵子, 稲熊 茂夫, 山本 幸平, 尾関 未紗, 吉岡 奨

1-2) 当院におけるタペンタドール錠投与患者の特徴と有効性に関する検討

厚生連高岡病院 緩和ケアセンター

○前田 千尋 (まえだ ちひろ), 浦上 裕美, 高瀬 美咲枝, 中曾根 美香,
宮原 美恵子, 川上 範子, 中嶋 和仙, 塚田 健一郎, 柴田 和彦, 村上 望

1-3) 当院におけるオピオイド開始と同時ナルデメジン処方例の使用状況と
効果について

石川県立中央病院

○黒川 勝 (くろかわ まさる), 脇田 重徳, 角田 雅彦, 台蔵 剛士

1-4) 当院におけるオピオイド誘発性便秘症に対するナルデメジンの使用状況

地方独立行政法人三重県立総合医療センター

○渡部 秀樹（わたなべ ひでき）、坂倉 究、佐貫 直子、児玉 秀治、
酒井 美紀子、小林 佑佳、川瀬 佐登美、安藤 真弓、高橋 実音子、
今出 雅弘

1-5) 術前にケミカルコーピングが疑われたがん患者の左骨盤半裁術後幻肢痛に対し、
多職種で介入し疼痛管理が可能になった1例

岐阜大学医学部附属病院

○中村 好美（なかむら よしみ）、杉山 陽子、山口 忍、操 奈美、飯田 宏樹

1-6) 過去の覚せい剤使用による症状性精神病のある末期肺癌患者に
ケミカルコーピングが疑われた一例

藤田医科大学病院緩和ケアセンター

藤田医科大学医学部外科・緩和医療学講座

○川崎 俊（かわさき しゅん）、東口 高志、桂 長門、村井 美代、大原 寛之、
山下 通教

1-7) 一般病棟における薬剤師による医療用麻薬注射剤調製システムの構築と
その運用状況に関する調査

藤田医科大学 七栗記念病院 医療技術部薬剤課

○上葛 義浩（うえくず よしひろ）、東口 高志、二村 昭彦

口演Ⅱ

平成30年11月3日（土）

■第2会場（会議室133, 134）

（10:20～11:30）

座長：村井 美代（藤田医科大学医学部外科・緩和医療学講座）

久山 幸恵（静岡県立静岡がんセンター）

2-1) 診断から短期間でBSC方針となった肺癌骨転移患者を経験して
～リハビリテーション専門職による在宅復帰支援の関わり～
名古屋第二赤十字病院

○端谷 僚（はしたに りょう）、室田 かおる、高木 裕介、今井 視保子、
棚橋 順治、竹内浩、若山 尚士、細江 浩典

2-2) 当院における呼吸終末期患者に用いた高流量鼻カニューラ酸素療法の検討
名古屋市立東部医療センター 呼吸器内科

○荒木 勇一朗（あらかき ゆういちろう），栗山 満美子，森下 真圭，
石原 明典，前田 浩義

2-3) 緩和的放射線治療を行った卵巣癌からの胸壁・胸膜転移の1例
総合青山病院サイバーナイフセンター

○水松 真一郎（みずまつ しんいちろう）

2-4) 低用量オクトレオチド投与が奏功した末期がん腸閉塞患者の一例
藤田医科大学病院 薬剤部

○蟹江 孝樹（かにえ たかき），東口 高志，桂 長門

2-5) 小児緩和ケアに対する当院緩和ケアチームの活動内容と今後の課題
名古屋大学医学部附属病院 緩和ケアチーム

○杉下 美保子（すぎした みほこ），宮嶋 真理，原 万里子，加藤 博史，
杉本 智哉，宮崎 雅之，今枝 美穂，新保 暁子，高橋 義行，安藤 雄一

2-6) 終末期患者のうつ病を発症した家族に対する精神心理的ケア
藤田医科大学病院緩和ケアセンター

藤田医科大学医学部外科・緩和医療学講座

○山下 通教（やました みちのり），東口 高志，川崎 俊，大原 寛之，
桂 長門，村井 美代

2-7) 当院における緩和ケアチームが介入した終末期鎮静についての検討
大垣市民病院 緩和ケアチーム

○中島 治典（なかしま はるのり），進藤 丈，安部 崇，富田 顕旨，
鈴木 宣雄，竹田 亜子，竹中 智子，田中 美帆，澤 たか子

口演Ⅲ

平成30年11月3日（土）

■第2会場（会議室133, 134）

（14:00～15:10）

座長：佐藤 哲観（静岡県立静岡がんセンター）

室田 かおる（名古屋第二赤十字病院）

3-1) 緩和ケアに関する看護師の知識・実践・困難感

名古屋徳洲会総合病院

○玉利 侑希（たまり ゆき），坂本 雅樹，大橋 純子，伊藤 裕子，松井 遊香，

西野 美希

3-2) 当院における緩和ケア研修の現状

厚生連高岡病院 緩和ケアセンター

○村上 望 (むらかみ のぞむ) , 津田 直美, 石倉 恵美, 宮原 美恵子,
澤田 幸一郎, 大島 正寛, 中嶋 和仙, 塚田 健一郎

3-3) 超音波エコー輝度を用いた骨格筋の質検討の試み

藤田医科大学病院緩和ケアセンター

藤田医科大学医学部外科・緩和医療学講座

○桂 長門 (かつら ながと) , 東口 高志, 村井 美代, 大原 寛之, 川崎 俊,
山下 通教,

3-4) 進行がん予後予測におけるピンチ力測定の意義-特に消化器がんに着目して-

藤田医科大学病院緩和ケアセンター

藤田医科大学医学部外科・緩和医療学講座

○大原 寛之 (おおはら ひろし) , 東口 高志, 桂 長門, 村井 美代, 川崎 俊,
山下 通教, 小倉 和也, 覚前 由希子

3-5) 終末期がん患者における予後予測因子としてのトランスサイレチン(TTR)測定の
意義

藤田医科大学病院緩和ケアセンター

藤田医科大学医学部外科・緩和医療学講座

○村井 美代 (むらい みよ) , 東口 高志, 二村 昭彦, 桂 長門, 大原 寛之,
川崎 俊, 山下 通教

3-6) 北陸三県合同在宅緩和ケア地域連携パス普及促進による効果、

現状と今後への課題

福井大学医学部附属病院がん診療推進センター

○児玉 麻衣子 (こだま まいこ) , 松村 由紀子, 廣野 靖夫, 小林 美貴,
高野 智早, 浦井 真友美, 桑原 希恵, 上谷 幸男, 紅谷 浩之, 片山 寛次

3-7) 緩和ケアにおけるがん講座の取り組み ～情報提供と交流の支援～

愛知県がんセンター愛知病院

○山本 聡子 (やまもと さとこ) , 池田 裕美, 加藤 紋巳, 安田 千雅子,
橋本 淳

一般演題（ポスター）

ポスター I

平成30年11月3日（土）

■第3会場（会議室131, 132）

（13:10～13:55）

座長：二村 昭彦（藤田医科大学七栗記念病院）

- P1-1) 地域から望まれる緩和ケア病棟を目指して
～緩和ケア病棟承認までの実績から見る今後の課題～
公立西知多総合病院
○松岡 サチ子（まつおか さちこ），加藤 美由紀，山本 起美代，渡邊 哲也
- P1-2) 当院でのがんリハビリテーションの現状
地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
○富中 真悟（とみなか しんご），渡部 秀樹，川瀬 佐登美，酒井 美紀子，
小林 祐佳
- P1-3) せん妄や疼痛コントロールに難渋する患者の「家に帰りたい」希望を支え
在宅療養に繋がられた1例
JA 愛知厚生連豊田厚生病院看護部
○近藤 久美子（こんどう くみこ），齋藤 靖子，井口 多恵子，安居 円，
渡部 恵，近藤 勇，蟹江 恭和，小島 康裕，村松 雅人
- P1-4) 在宅排泄ケアの課題（ナルデメジンを投与した3例を通して）
ませ調剤薬局
○脇田 雅子（わきた まさこ），菊川 佳代，藤田 るみ
- P1-5) 自壊創のある乳がん患者と家族の日常生活援助について考える
～在宅で過ごすためのチームアプローチ～
かがやき訪問看護ステーション加美駅前
○澤田 里子（さわだ さとこ）
- P1-6) 在宅医療を提供する診療所と訪問看護ステーションが連携して看取りを行う際の

課題～がん症例を担当する訪問看護師の負担感の検討

磐田在宅医療クリニック

○川口 知香 (かわぐち ともか) , 大石 恭代, 加茂 千恵, 土屋 亜希子,
内山 佳奈美, 松下 佳澄, 榎本 美紀, 福本 和彦

P1-7) 呼吸器内科・外科病棟における化学療法施行患者への早期栄養介入について
藤枝市立総合病院 臨床栄養科

○小畑 里英 (おばた りえ) , 津久井 賢, 塚本 浩樹, 杉本 智子

P1-8) 在宅療養癌患者における holistic feeding support team「食楽」の試み
総合在宅医療クリニック

○堀尾 建太 (ほりお けんた) , 安田 和代, 市橋 亮一, 土屋 邦洋,
丹菊 眞理子, 合掌 かおり, 石川 明奈, 増井 法子

P1-9) 富山がん哲学外来メディカルサロンほっこりの活動報告

一般社団法人滑川市医師会訪問看護ステーション

○長 光代 (ちょう みつよ) , 山田 毅, 今井 祐子, 酒井 裕美, 山田 裕子

ポスターⅡ

平成30年11月3日(土)

■第3会場(会議室131, 132)

(13:10~13:55)

座長: 西村 幸祐(岐北厚生病院 緩和ケアセンター)

P2-1) 当院C-6病棟における Palliative Prognostic Index による予後予測と実際の
予後との関連の検討

藤田医科大学病院緩和ケアセンター

○橋本 勝利 (はしもと かつとし) , 羽根 裕美子, 乗松 周子, 東口 高志,
桂 長門, 村井 美代, 大原 寛之, 山下 通教, 川崎 俊

P2-2) 全人的苦痛に対し睡眠をとることで大幅に緩和できた1例

岐北厚生病院 緩和ケアセンター

○西村 幸祐 (にしむら こうすけ) , 田上 知江美, 川崎 江里, 北原 陽子,

P2-3) 多職種連携により治療の意思決定を尊重できた乳癌患者の1事例

市立湖西病院 看護部

○豊田 清子（とよだ きよこ），志田 友美

P2-4) 突然「歩きたい」と意思表示された終末期胃がん患者に対し、認定看護師が生活のしやすさに関する質問票を活用し、患者の入院生活を最期まで支えた一例

医療法人(社団)寺田病院

○松本 真理（まつもと まり），長嶋 千恵子，板野 聡，堀木 貞行，
福田 由美子，中森 喜代美，浅井 真由美

P2-5) 心不全患者のエンド・オブ・ライフケアにおける意思決定支援

～当院の理念を踏まえた看護実践～

医療法人財団愛泉会愛知国際病院

○峰 千夏（みね ちか），太田 信吉，川口 レオ，山本 恵，久保田 久美子，
大竹 貴子

P2-6) せん妄が認められる患者の意思決定支援について振り返る

藤枝市立総合病院

○今村 亜未（いまむら あみ），塚本 浩樹，坂原 幸枝

P2-7) ベッドサイドカンファレンスを活用したアドバンス・ケア・プランニングの取り組み

蒲郡市民病院

○酒井 由貴（さかい ゆき），小嶋 知巳，森 詩栞，大田 香央里，市川 百合子，大日方 美和

P2-8) 終末期の親をもつ思春期の子どもへの関わり

済生会松阪総合病院

○藤解 すみ子（とうげ すみこ），村木 明美，村田 豊子，竹口 有美，
清水 美恵

ポスターⅢ

平成30年11月3日（土）

■第3会場（会議室131, 132）

（13:10～13:55）

座長：川出 義浩（名古屋市立大学）

- P3-1) がん患者の疼痛マネジメントにおける薬剤師の介入効果
大垣市民病院
○鈴木 宣雄 (すずき のりお) , 神田 友江, 竹中 智子, 竹田 亜子,
宇佐美 英績, 吉村知哲
- P3-2) オピオイドローテーションによりせん妄の改善を認めた1例
静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科
○森山 裕紀子 (もりやま ゆきこ) , 大坂 巖, 佐藤 哲観, 妹尾 真知子,
大野 茂樹, 川上 恭平, 柳原 恵梨, 石川 ゆりか, 柳場 美穂, 臼井 比奈子,
安達 勇
- P3-3) 終末期の症状緩和に対して少量のステロイドが約1年間有効であった1例
愛知国際病院ホスピス
○大村 浩之 (おおむら ひろゆき) , 加藤 直美, 太田 信吉, 井出 宏
- P3-4) オピオイド注射薬投与患者におけるプロクロルペラジンのOINV予防効果に
関する検討
藤田医科大学七栗記念病院 医療技術部 薬剤課
○今井 一輝 (いまい かずき) , 東口 高志, 二村 昭彦
- P3-5) 緩和ケア病棟開設1年の現状と課題
医療法人 尚豊会 みたき総合病院
○渡邊 尚美 (わたなべ なおみ) , 近藤 潤夫, 黒田 秀之, 和田 正子,
古橋 亜沙子
- P3-6) 緩和ケアチームの介入の介入内容に関する調査を通してチームの役割を考える
総合病院 中津川市民病院 薬剤部
○隅田 美紀 (すみたみき) , 曾我 みゆき, 川口 拓郎, 田邊 裕, 松本卓也
- P3-7) アンケート調査からみる当院緩和ケアチームの課題
社会医療法人 杏嶺会 一宮西病院
○古田 千晴 (ふるた ちはる)
- P3-8) PDCA サイクルに基づく当院緩和ケアチーム活動の評価
福井県済生会病院
○加藤 泰史 (かとう やすし) , 谷 一彦, 土田 敬, 山田 仁映, 松本 友梨子,

山元 章代, 岩本 嘉修, 谷口 としえ

閉会式

平成30年11月3日(土)

■第1会場(白鳥ホール)

(16:40~16:45)

次回大会長挨拶

松原 貴子 (国立大学法人 三重大学医学部附属病院)

閉会の挨拶

会 長: 東口 高志 (藤田医科大学医学部 外科・緩和医療学講座 教授)